

LICENSED PRODUCT  
3/Color  
White  
Magenta  
Red  
Yellow  
Green  
Cyan  
Blue  
Black

招  
添  
実  
集  
  
十一

遠 13  
1580  
11

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20  
JAPAN  
TaJma



門へ遠13  
蒲 580  
巻 //



此一篇の尾張にて草草り田舎人の頑く其といふ朋友の稿本と見て朝の  
梭子子ぐ女中調弄るへ妹背山の御殿場を宣孝筑此糸小起き紫式部  
画賛ともわたり石魂録の面影より藍より出く水浅葱染返へ榮は  
也一言小遣籠り説得是了然云へ無理中もあはねど五百羅漢の其  
中必親小侶と顔のあはしく年々歳々著述數十部及ぶやふ  
他のもの自の中も肖るものあはてはあはねど足下此二を難く未似る  
事を本編小綴るを尤らぬいふ何ぞと云ふ梭子子と式部小踊の所望  
画賛の詠田畔の池小庭の泉水事を異と入水の覺悟又へ久く遇ぬ父  
名告うるも二度中是とも蒙求の比事小倣るともあはねど金聖難  
所謂正犯るどの文法を博識りかて用るもの非ず都て余倉卒より鑽  
實正の言句も出すと自己より我非を揚樓の使女が言辞より起筆す

五 安政五年午孟春新刻 柳々老人仙果



美此卷十一





丹生使宣孝徒類亦大藏種村  
 凌轅せらるゝ寛和元年七月十日  
 日本紀畧其由出たり  
 一条院天皇の御代の  
 事とせらるゝ  
 戲の  
 作  
 大和国宇智  
 郡の大領  
 大藏種村

種村  
 紫式部  
 恋慕  
 根の  
 愚作



伊賀飛騨  
 大望の性  
 披露  
 善の  
 性  
 本





紫式部の  
 十二編小詳あり  
 紫式部の  
 十二編小詳あり  
 紫式部の  
 十二編小詳あり



紫式部の  
 天式部  
 負智  
 盛粧を  
 照見る所  
 紫式部の  
 天式部  
 負智  
 盛粧を  
 照見る所

















此の如く  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり  
 扇の形  
 花の如し  
 女流の  
 心も花  
 の如し  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり

此の如く  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり  
 扇の形  
 花の如し  
 女流の  
 心も花  
 の如し  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり



此の如く  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり  
 扇の形  
 花の如し  
 女流の  
 心も花  
 の如し  
 扇を手に  
 坐すは  
 女流の  
 風流なり

此の如く

11

此の如く

11











Handwritten text in the top margin of the right page, including the characters 'Kaw' and 'Sato'.



Handwritten text in the upper left quadrant of the right page, surrounding the woman and child.

Handwritten text in the top margin of the left page.



Handwritten text in the bottom margin of the left page.













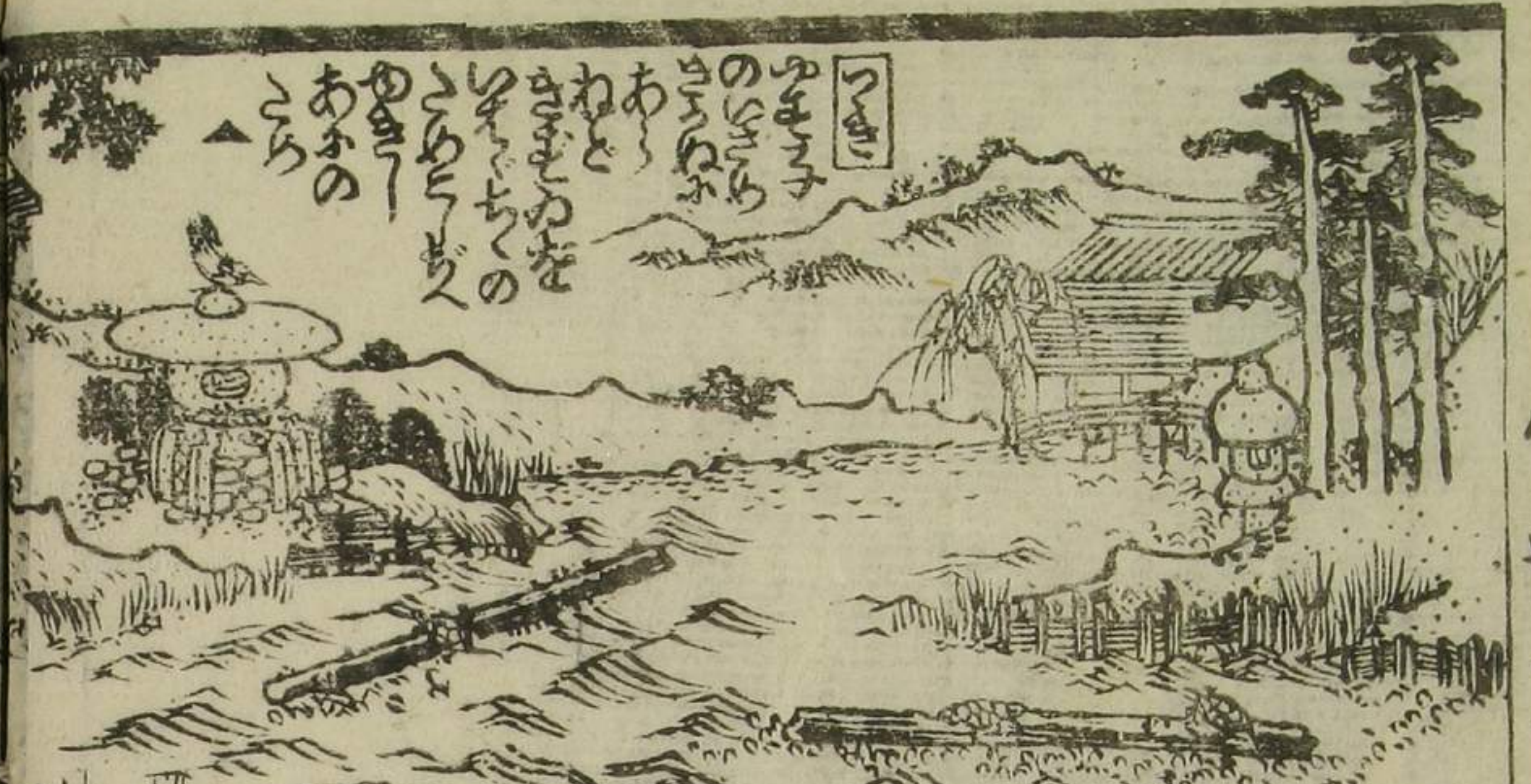








Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a dialogue or narrative accompanying the illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the narrative or dialogue from the previous page.





上

下



上

下























